

新年明けましておめでと〜いございます。

2011年を振り返り〜新しい年を迎えて

今年も平和のために心お寄せいただき皆様みなさま方とともに、憲法九条の精神をひろげるために歩んでまいりたいと思います。

さて昨年は、結成6周年の集いを兼ね、極冷えの1月26日(日)に聾啞者を取り巻く社会問題に正面から取り組んだヒューマンズムあふれる『ゆずり葉』DVD上映会」を開催し、33名が参加。参加者の感動の涙を誘いました。



結成6周年のつどい('11/1/26)

案内人の城臺美弥子さんを迎えて、城山地内の原爆

遺構巡り」に19名が参加。身近な被爆の遺跡に平和の大切さを学びました。

8月28日(日)には、長崎大学准教授の富塚明さんを講師に招き、「原発と憲法を考えるつどい」に29名が参加。福島原発事故の重大性を視覚教材を交えながら、核エネルギー発電の原理や未来のエネルギー問題も含めて、わかりやすく解説していただきました。

また、11月5日(土)には、その第2弾の「原発と憲法を考えるつどい」を開催。同じ富塚明さんにご講義いただき、26名が参加しました。また、8月と11月の学習会では、城山憲法九条の会の運営等についてのアンケートを実施、参加者から貴重なご意見をいただきました。

その他、会では県九条の会の呼びかけによる「九条フェスタ」(5月3日)、放射能・放射線の影響講演会(11月12日)などに世話人等が自主参加してきました。

この他、会では3月に「城山憲法九条の



3/26遺跡巡りで演奏する園田さん

を毎月開催し、事務局会議も4回開催しました。

今年は、3カ月に1回程度、城山憲法九条の会としての集い(学習会、碑巡り、映画会、文化行事など)を開催するとともに、会のニュースの定期発行にも力を注ぎたいと考えております。

2月18日(土)には、結成7周年の集いとして、城山教会信徒会館において、長崎大学経済学部教授で憲法学者である井田洋子さんをお招きし、東日本大震災・原発事故、増税、TPP、普天間基地など大きな問題が山積する中で、民主党政権のもと発足した憲法調査会の動きなど、「憲法改正を巡る現在の状況」と題してご講演をいただくことにしております。

会」幟旗を作成。今後の会の行動や集会などに活用していく予定です。なお、昨年は世話人会

「原発はいらない。再生エネルギーを」

原発問題で連続学習会

昨年は東日本

大震災・原発事

故にみまわれま

した。原発事故

に対する不安と

関心が寄せられ

たの受けて、城

山九条の会は、



「つどい」(11/5、カトリック城山教会)

八月に物理学者・富塚明長崎大学准教授を講師に「原発問題を考えるつどい」を開催しました。さらに要望があり十一月に再度「つどい」を開催し、それぞれ30人近くが参加しました。

富塚さんは、「原子力発電」といういい方は日本だけ、世界では「核発電」と言われていることを紹介。原子力発電を核兵器と違うものにえがくことから「安全神話」が始まっていると語りました。

核爆発を安全にコントロールする技術は確

立されておらず、人類は核のゴミといわれ

る核廃棄物を処分する方法も、場所も持た

ず、核廃棄物がたまり続けている。原子力

発電の技術は未完成のものと指摘して、原

子力発電からは撤退すべきと強調しまし

た。

また、電力不足の問題は、電力会社がい

うように深刻ではない。節約と再生エネル

ギーの活用、研究・開発をすすめれば展望

はあると具体的な数字も示して説明しまし

た。

参加者からは、「2回にわたる原発問題、

とてもわかりやすい説明でよかった」、「自

然エネルギーの日本の技術の高さがわか

り、原発は廃炉にすべきと確信しました」、

「少し難しい内容でしたが、こういう時間

がないと、もっともっと分からない、知ら

ないで生活していたと思います」などが寄

せられました。

城山憲法九条の会の運営体制

城山憲法九条の会の運営体制は、昨年12月から次の通りです。

世話人(13名) 奥山忍・楠田穰・楠田昌子・下平作江・佐久間洋子・里見公義・園田鉄美・橋口亮子・廣瀬方人・深町孝郎・Mヒルデン・水谷厚子・山口秀樹の各氏。代表世話人は下平作江、楠田昌子、山口秀樹の三氏、事務局長は園田鉄美氏が務めます。

現在、賛同会員(集い参加者を含む)が城山地区内で約400名、地区外で約100名となっています。会の連絡・運営をよりつながりあるものにするために、世話人の補充やニュース・チラシの配布者を広げていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

ご案内

城山憲法九条の会 結成七周年のつどい

2月18日(土)

午後1時半～3時半

カトリック城山教会

(信徒会館)

記念講演・井田洋子さん
長崎大学教授(憲法学)